

大名みえ子です

2014.8.28 No.252

東海村村松 2401-2

電話・fax 029-284-0761

押延区自治会(8月17日) ふれあいレク大会開かれる



8月17日、中丸コミセンにおいて押延自治会ふれあいレク大会が開かれ、おじいちゃん、おばあちゃんから生後?ヶ月の子まで、300人余が参加しました。開会式後、軽体操を行い協議に入りました。私の所属する中班は、トータルで全10班中5位になりました。ビンゴや抽選会も大人気で、盛り上がりしました。



途中で山田村長もかけつけて来られ、挨拶をいただきました



あいにくの雨模様で、コミセンのホールでの大会となりました。村長が見えたときの競技種目は「班対抗玉入れ」です。

「年金の削減中止と年金制度をまもる請願」

議会文教厚生委員会は賛成少数(賛成2、反対4)で、不採択に!

今年3月議会に提出されていた「年金の削減中止と年金制度をまもる請願」は、8月22日開会の委員会で、各委員から請願に対する意見が示され、その結果、全6人(委員長は除いて)の委員のうち、請願に賛成が大名・豊島委員の2人で、賛成少数で不採択とされました。審査の過程で、不採択とすべきという委員から「年金制度をまもるという考えは誰も同じ。しかし、まもるためには、みなで痛みの分かち合いも必要。年金の削減中止を言うのは、制度を守るということと矛盾している」など、意見が出されました。

制度維持のために国がいろいろ努力していると制度の必要性は言うものの、憲法に基づく社会保障の国の義務について述べたのは、大名だけでした。年金保険料はどんどん上げる、つまり掛け金は膨らむ一方で、制度維持のためと言って年金支給が減らされていたのでは、生きていくことができなくなってしまいます。生きていくための、生きていける年金でなければなりません。そのためには、制度への国の財源支出を大きくする必要があります。国の責任で、しっかりした社会保障を整備し、安心できる年金制度の確立が必要です。

久々に袋田の滝を訪れました

19日に大子町の福寿草に泊まる機会があり、翌朝帰りがけに本当に久しぶりに袋田の滝を見てきました。水が豊富に流れていてとても見ごたえのある光景でした。私の須和間小学校時代は、4年生の秋の遠足は袋田の滝と決まっていたのですが、今ではすっかり観光地らしく整備されています。朝早めの訪れでしたので観光客はあまりいませんでしたが、懐かしさを感じた時間でした。また、滝入り口では、毎年秋、国民救援会が冤罪事件の署名行動を行い、無罪を勝ち取る力としてきた所とも聞いています。

